

事務事業評価シート(平成21年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名		担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名	
06303	水道整備事業		建設水道課	水道工務係	増沢 秀行	唐澤 武志	
	一次評価年月日	平成 22 年 6 月 30 日	連絡先(内線)		2167		
事務事業実施の根拠・位置づけ	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)			
	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	「 一般 区 特別	9102	配水及び給水費			
		「 一般 区 特別	5640	簡易水道総務管理事務			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	(コード選択)	3章	夢のある地域形成		
		節	(コード選択)	1節	町の基盤を整備する		
		項[基本施策]	(コード選択)	313	上水道の安定供給		
		主な取り組み	(コード選択)	3133	上水道・小野簡易水道の健全な運営		
関連する計画等への位置づけ	「 第四次行財政改革大綱	区 3ヶ年実施計画	「 主要業務報告	「 其他			
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	L	開始時期不明	※ 終期設定なし	

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

上水道、小野簡易水道の給水家庭

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

安全で豊富な水道水を安定供給するため。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 耐震性を考慮した水道本管の布設替、新設を行う。
- 浄水場などの耐震診断を計画的に実施し、耐震性のない水道施設については、計画的改修計画を立案し、更新事業を実施する。
-
-

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
① 指標名	水道本管布設替、新設	M	1,071	1,056	968		1,000
① 説明	老朽化した水道本管の布設替、配水量増加に対応した水道本管の布設替状況を見る。	目標値設定の根拠	平成19年度辰野町上水道配水整備計画による。				
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		20年度	21年度	22年度(見込み)		22年度	年度(見込み)
① 指標名	水道本管の漏水発生件数	件	1	1	0		0
① 説明	石綿管などの老朽化した水道管の年度別漏水発生件数の推移から達成度を分析	目標値設定の根拠	整備の進捗により老朽化による水道管の漏水発生は減少するため、このように目標値を設定した。				
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

区

決算書・予算書等に記載の数字

「

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度						
			決算	決算	見込み	見込み						
		(千円)	112,708	27,825	38,015	38,615						
対前年比		%		24.7	136.6	101.6						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		(千円)	112,708	27,825	38,015	38,615						
B) 一般財源(税金)		(千円)										
①事業費		(千円)	109,147	24,254	34,400	35,000						
対前年比		%		22.2	141.8	101.7						
②人件費の概算		(千円)	3,561	3,571	3,615	3,615						
対前年比		%		100.3	101.2	100						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.05	0.05 0.05 0.05	0.50 0.50 0.50	0.55 0.55 0.55	3,561	3,571	3,615	3,615	
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート						0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	A	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある 湯舟配水地更新事業 C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している 水道施設の維持管理、漏水発生時の修理などにより、施設などの状態を把握。 C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

水道施設の耐震化を計画的に図るため、耐震診断実施計画を立案し計画的に実施する。水道本管の改修に際しては、耐震性に優れた管種を採用する。

22年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

耐震化計画により、耐震化整備の優先順位を決めて計画的な整備を進める。

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止



a 上記 a~e を選択